

西野町小学校



テーマ

**ふるさとを大切に思い、自ら考え、共に学び、
高め合う子の育成**

**～ふるさとの教育力を生かした「茶育」の実践と
共学びのできる授業づくりを通して～**



テーマの説明

- ・地域ブランド「西尾の抹茶」の学習や御殿万歳の保存・継承を核に、子どもたちが郷土の伝統文化を親しみ理解していく中で、ふるさとを大切に思う心を育てる。
 - ・子どもが共学びできる授業づくりに取り組み、子どもの主体性と他者を思いやる協働・共生の心を育む。
- ※「共学び」とは、子どもどうしの意見交流を活性化することで、新たな考えを見つけたり、自分の考えを強化したりすることである。

◎「茶育」を通して、おもてなしの心を学ぶ

- ・「手もみ茶体験」を通して、地域に親しみ、特産物を理解する3年生
- ・「校外茶摘み体験」を通して、地域産業の重要性と苦労を体験する4・5・6年生
- ・「西野町茶会」を通して、地域・保護者の方々をもてなし、感謝の心を伝える全校児童
- ・特色を生かした「茶の図書館」の開館



◎「茶育」を核にした教科等横断型学習で、生き方を学ぶ

- ・家庭科の学習で、お茶のよさを生かした和菓子作りに挑戦する。
- ・総合的な学習の時間や社会科の学習で、地域のお茶産業を通して、農作物の栽培の工夫・努力や流通を学ぶ。
- ・「お茶学習」を通して、お茶に関わる多くの人との触れ合いから、人の生き方を学ぶ。



◎共学びのできる授業づくり

◎対話や活動を通して考えを共有し、共学びの姿を目指していく。

- 考えを再構築するための関わり方の工夫や学びをつなげる振り返り
- 問題意識を大切にし、追究活動を適切に支援できる単元構想
- 「深まりの場を中心とした授業展開」と教師の出



◎他者理解を図り、思いやりの心を育てる「学級づくり」を探る。

- 学級力向上プロジェクト
- ソーシャルスキルトレーニング
- コミュニケーションスキル



◎どの子ども落ち着いた生活ができるような「学習環境づくり」に取り組む。

- 望ましい生活習慣「西野町スタンダード」の定着
- 対話に焦点化した学習規律作りやシステム作り



本校では、子どもたちが他との関わりの中で課題解決していく力を育て、能動的な学びに向けての授業改善に取り組みます。教科学習に「主体的、対話的で深い学び」の視点を取り入れ、集団での対話や活動を通して、知識や考え方を共有しながら深めていく「共学びできる授業」に取り組みます。

「主体的な学び」では、子どもの気づきを大切にし、考えを再構築していくための関わり方の工夫や単元構想の作成、さらに「深まりの場を中心とした授業展開」の中での教師の出についての授業改善を図ります。「対話的な学び」には、何でも言い合える信頼関係が築かれた学級が必要です。そこで、他者理解を図り思いやりの心を育てる「学級づくり」や落ち着いた生活ができる「環境づくり」に取り組みます。